

令和7年
2025年

11月6日
木曜日

第11828号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6カ月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



肉用牛振興対策推進全国協議会、肉用牛関連施策について要請……P5

注目のヘッドライン

10月豪州産対日輸出量、合計3万751tで67・8%増

豪州農水林業省が公表した10月の豪州の食肉輸出量によると、食肉の総計は21万4210t(前年同月比0・8%減)とやや減少した。

…詳細はP2

上期は売上高、利益共に過去最高—日本ハムの中間決算会見①

…詳細はP3

▶10月豪州産対日輸出量、合計3万751tで67・8%増……………P2

▶上期は売上高、利益共に過去最高—日本ハムの中間決算会見①……………P3

▶杉本本店グループ、マレーシア向け輸出認可を取得……………P3

▶浦田社長「厳しい環境下で健闘」—伊藤ハム米久HD中間決算会見①……………P4

▶ニチレイフーズが2月1日納品分から、一部商品で価格改定……………P4～5

▶肉用牛振興対策推進全国協議会、肉用牛関連施策について要請—農水……………P5

▶9月の豚肉輸出は前年同月比で2倍増、輸出額も増……………P5

▶プリマハム決算会見②、業務用強化の取り組みが成功……………P6

▶薬剤耐性菌対策ミニセミナーを開催—農水省…P6

▶2025年度全国霜降り牛研究会秋季講演会開催……………P7

▶米国粗飼料輸出協議会がオレゴン州の要人招き、黒毛和種の試食会開催……………P8

▶プリマハムが東京ディズニーシー25周年スペシャルナイト招待CP実施……………P8

▶[資料]2025年9月分の食肉輸入通関実績⑨……………P9

▶[東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]5日……P10

▶[各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]5日…P11



国内で唯一、最大級の食肉総合見本市

第50回
2026食肉産業展
2026 Japan Meat Industry Fair 50th.

会期●**2026年3月10日(火)⇒13日(金)**

会場●**東京ビッグサイト** 主催●食肉産業展実行委員会
後援●農水産省、厚生労働省ほか



半世紀の集大成を
未来へつなぐ

圧倒的開催規模!

フード業界が最も注目する
国内最大規模の総合見本市



同時開催

アジア最大級の食品・飲料総合展示会
The 50th International Food and Beverage Exhibition
FOODEX JAPAN 2025



10月豪州産対日輸出量、合計3万751tで67・8%増

豪州農水林業省が公表した10月の豪州の食肉輸出量によると、食肉の総計は21万4210t(前年同月比0・8%減)とやや減少した。

畜種別にみると、牛肉は13万9285t(7・1%増)、山羊は5827t(1・0%増)、豚肉は3200t(4・4%増)と増加したが、マトンは1万8241t(33・0%減)、ラムは2万4667t(7・5%減)、内臓類は2万2941t(0・5%減)と減少した。

対日輸出量(船積数量)は3万751t(67・8%増)で、このうち牛肉は2万6883t(79・0%増)、ラムは822t(7・5%増)、山羊は64t(77・8%増)、内臓類は2701t(25・0%増)と増加したが、マトンは261t(18・9%減)で前年を下回った。

牛肉の輸出数量を州別にみると、クイーンズランド州は6万8235t(1・3%増)、ビクトリア州は2万9464t(6・5%増)、ニューサウスウェールズ州は2

万4189t(7・1%増)といずれも増加。このうち日本向けもクイーンズランド州が1万7187t(67・4%増)、ビクトリア州は4319t(94・8%増)、ニューサウスウェールズ州は3676t(159・1%増)で、いずれも大きく前年を上回った。

豪州の対日輸出数量(2025年10月)

(単位:トン、船積重量)

	日本向け計	NSW	VIC	QLD	南豪州	西豪州	TAS
牛肉 (前年同月比)	26,883 179.0	3,676 259.1	4,319 194.8	17,187 167.4	781 230.4	298 240.3	571 86.9
マトン (前年同月比)	261 81.1	106 77.4	55 66.3	0 -	0 -	100 99.0	0 -
ラム (前年同月比)	822 107.5	128 64.3	472 127.6	7 175.0	186 99.5	28 933.3	1 -
豚肉 (前年同月比)	4 -	0 -	4 -	0 -	0 -	0 -	0 -
内臓類 (前年同月比)	2,701 125.0	600 146.0	537 95.6	1,345 134.4	79 91.9	91 133.8	43 134.4
その他・計 (前年同月比)	30,751 167.8	4,510 208.2	5,429 166.0	18,561 164.7	1,047 171.1	516 173.7	615 89.1

豪州の食肉輸出数量(2025年10月)

(単位:トン、船積重量)

	豪州総計	NSW	VIC	QLD	南豪州	西豪州	TAS
牛肉 (前年同月比)	139,285 107.1	24,189 107.1	29,464 106.5	68,235 101.3	7,286 135.6	3,556 97.8	3,041 89.4
マトン (前年同月比)	18,241 67.0	5,988 60.8	7,712 77.0	0 -	957 50.1	2,628 50.4	243 103.0
ラム (前年同月比)	24,667 92.5	5,887 81.3	9,593 81.7	2 -	2,907 73.8	2,572 72.7	294 143.4
豚肉 (前年同月比)	3,200 104.4	669 105.9	471 96.9	126 72.0	432 123.8	957 67.4	0 -
内臓類 (前年同月比)	22,941 99.5	5,002 102.6	5,365 86.8	9,580 103.7	1,196 98.7	987 83.8	298 78.2
その他・計 (前年同月比)	214,210 99.2	43,558 92.9	53,170 90.6	79,104 101.1	12,947 101.1	10,700 71.4	3,876 91.8

2025年10月の船積み数量(10月31日時点)

(単位:トン)

主な輸出先国	牛肉	うちチルド	マトン	ラム	山羊	豚肉	内臓類	合計
日本 (前年同月比)	26,883 179.0	7,773 112.8	261 81.1	822 107.5	64 177.8	4 -	2,701 125.0	30,751 167.8
韓国 (前年同月比)	17,675 89.6	2,310 77.6	278 534.6	1,569 131.2	1,242 115.2	69 191.7	2,216 76.0	23,049 92.2
台湾 (前年同月比)	3,024 111.5	587 130.4	575 334.3	201 128.8	190 56.9	0 -	220 75.6	4,210 114.2
米国・東部 (前年同月比)	32,524 94.6	9,875 91.9	1,863 109.3	4,551 85.2	2,940 114.6	0 -	2,248 188.1	44,126 97.6
米国・西部 (前年同月比)	9,020 82.3	1,181 143.7	199 59.4	1,228 95.3	292 111.5	0 -	134 67.7	10,874 83.4
EU (前年同月比)	2,878 219.7	2,108 164.2	1,076 312.8	1,564 106.0	45 -	0 -	99 170.7	5,662 177.6
その他・計 (前年同月比)	139,285 107.1	36,768 116.0	18,241 67.0	24,667 92.5	5,827 101.0	3,200 104.4	22,941 99.5	214,210 99.2

資料: 豪州農水林業省

上期は売上高、利益共に過去最高—日本ハムの中間決算会見①

日本ハムは4日、大阪市北区の本社で2026年3月期第2四半期決算会見を行った。会見には井川伸久代表取締役社長、松本之博常務執行役員加工事業本部長、細谷信博常務執行役員食肉事業本部長、秋山光平取締役常務執行役員広報部担当、泉聡経理財務部長が出席した。

冒頭、井川社長(写真)が次のように上半期総括を行った。

上期は売上高、利益共に過去最高を達成した。通期の計画も上方修正し、過去最高を予定している。食肉事業では、豪州での牛肉事業、国内での鶏肉事業の二つが大きくけん引した。豪州に関しては、前中計で豪州の牛肉生産を7万頭体制に強化しており、これがフル稼働したことによるもの。一人ひとりの生産性も向上したことに加えて、キャトルサイクルの追い風があったため、大きく伸長した。国産鶏肉は生産性が若干上がっているが、こちらは主に相場高の恩恵を受けた。生産に取り組んでいる強みを生かし、強い需要に対して欠品せずに供給し続けることができた。また、ボールパーク事業もチーム成績が良かったことによる観客動員数の増加に加え、ボールパークでもキャンペーンやフェアなどの開催数を増やし、飲食テナントの入れ替えなどを積み上げたことが利益につながった。

加工事業は結果として減益となっているが、DX関連の一時負担が大きなものだった。今後はサイバーセキュリティへの対応強化も喫緊の課題となるだろ



う。この他、買収した北米企業の立ち上げが遅れていること、米国内の鶏肉高騰も大きなマイナス要因となった。これらが下期に改善することでキャッチアップを見込んでいる。

下期に向けては、牛肉事業で引き続き豪州の牛肉事業、国内の鶏肉事業が堅調に推移するとみているが、このうち鶏肉に関しては上期ほどの好調は期待できないものの、年間トータルでは前年を大きく超える見通し。加工事業も構造改革を着実に進めており、一つひとつラインを削減したり、工場を閉鎖したりといったことも進めている。また、8～9月には販売数量が回復傾向にある。今期は売上高、利益共に過去最高を目指して取り組んできたが、しっかりとこれをやり切る。また、次の中計に向けても準備をしていかななくてはならない。それを踏まえて、中期的な施策を打ち出していく必要がある。今後も企業価値を向上させるという動きを継続し、変化が激しい状況も乗り切っていく。(連載続く)

杉本本店グループ、マレーシア向け輸出認可を取得

イスラム教徒向けにハラール牛肉の輸出事業を手掛ける熊本県の杉本本店(同県宇城市、杉本光士郎社長)と、大動物のと畜業務を担う熊本中央食肉センター(同、馬場聡社長)は4日、マレーシアに対する牛肉輸出のライセンスを取得したと発表した。同国向け認可取得は国内でも少なく3カ所目。同社グループでは前月にクウェート向けの輸出ライセンスも取得しており、認可取得先はサウジアラビア、UAE、台湾な

どに続き9カ国目となる。

マレーシアの人口は約3400万人で、うち国教のイスラム教徒が約6割を占める。東南アジア諸国の中でも伝統的に観光産業が盛んな他、近年は若年層の人口増加に伴い中間所得層も育ち堅実な経済発展を遂げている。杉本本店では今回の認可取得を機に現地の販売先と緊密な連携を図り、黒毛和牛ブランド「黒樺牛」の輸出拡大に弾みをつけていく方針だ。

浦田社長「厳しい環境下で健闘」—伊藤ハム米久 HD 中間決算会見①

伊藤ハム米久ホールディングスは4日、東京都目黒区の本社で2026年3月期第2四半期決算説明会を行った。会見には浦田寛之代表取締役社長、野澤克己取締役常務執行役員管理本部長、中尾周平常務執行役員経営戦略部長が出席した。

会見冒頭、浦田社長(写真)があいさつとともに上半期総括を次のように述べた。

25年度上期の決算は前年比で増収増益となった。世界的なインフレの影響で各種コストが上昇する厳しい環境の中、健闘できたと思うが、まだまだ課題が残っている。加工食品事業においては、商品の新陳代謝を推進し、採算改善に取り組んできたが、販売数量の減少や原材料・物流コストのさらなる上昇などに相殺され、利益は横ばいとなった。期初に掲げた商品の新陳代謝やマーケティング強化などは、まだまだ道半ばとなっている。食肉事業については、アンズコフーズ社の決算期変更による一時的な増収に加え、国内鶏肉相場の上昇などプラス要因があった。また、国内事業の取引条件の見直しによる採算改善などにより、増益となった。国内事業のさらなるリスク管理強化が下期での継続課題となる。

通期業績の見直しについては、各段階利益を上方修正し、売上高1兆500億円、経常利益280億円と前年比増収増益を見込む。セグメント別では、加工食品事業は上期の販売数量の状況を踏まえて下方修正し、食肉事業は国内事業の堅調な環境やこれまでの収益性改善を折り込んで上方修正とした。今後も市況の改善や相場の上昇などの外部要因に頼ることなく、基礎収益力のさらなる底上げにスピード感を持って取り組んでいく。

続いて、野澤常務が決算の概要について次のように説明した。

初めに、決算短信で記載の通り、当中間連結会計



期間より、実態に即した経営情報を把握し、連結財務諸表をより適切な開示とするため、連結子会社のアンズコフーズ社およびその子会社21社の決算期を12月31日から3月31日に変更し、連結決算日と同一としている。そのため、当第2四半期連結業績においては、当該子会社の9カ月分の業績が含まれている。これによる影響額は売上高で406億円、営業利益で13億円、経常利益で11億円、税金等調整前中間純利益は11億円となっている。

冒頭、浦田社長から説明があった通り、25年度上期決算は増収増益となった。セグメント別では、加工食品事業が販売数量の減少を価格改定などでカバーするといった内部要因で改善したが、原材料高やその他コストアップで相殺され、事業利益は前年並みとなった。食肉事業では、国内の鶏の生産事業の収益性が向上するなどの国内事業要因、アンズコフーズ社の北米向けの牛肉輸出収益性の改善と決算期変更による海外事業要因などで事業利益が増加した。

こうした状況を受けて、通期業績予想を上方修正した。加工食品事業は販売数量回復の遅れと原材料コスト増の影響から、予想を一部下方修正。食肉事業では、国産豚の収益性改善、国産鶏生産事業の業績への寄与、海外のアンズコフーズ社の業績が堅調に推移することを見込んでいる。(連載続く)

ニチレイフーズが2月1日納品分から、一部商品で価格改定

ニチレイフーズ(竹永雅彦代表)はこのほど、2026年2月1日納品分から家庭用商品および業務用商品の出荷価格を改定すると発表した。

同社は「昨今、原材料価格の高騰や動燃料費、人件費の上昇が続く中、当社では全社挙げての効率化、合理化、原材料の見直しなど、できる限りのコス

ト削減に取り組み、商品の安定供給とともに品質・価格の維持に努めたが、自助努力だけではコスト増を吸収することが困難な状況となった。現在の商品品質を維持し、安定的にお届けするため、出荷価格の改定を行う」としている。

【対象商品】家庭用冷凍食品=米飯商品全て/麺商品、お弁当向け商品の一部。業務用冷凍食品=米飯商品、ハンバーグ商品、春巻商品、ポテトコロッケ

商品、和総菜商品の一部/メンチカツ商品全て。業務用常温食品=カレー・スープ類※一部商品は、規格変更に伴う「実質的な価格改定」を行う。【価格改定率】家庭用冷凍食品：約8～約20%アップ▷業務用冷凍食品：約5～約25%アップ業務用常温食品：約5～約12%アップ※使用原材料等の商品設計などにより改定幅は異なる。【価格改定時期】2026年2月1日(日)納品分から

肉用牛振興対策推進全国協議会、肉用牛関連施策について要請一農水省

肉用牛振興対策推進全国協議会は5日、令和8年度肉用牛関連施策について、山下雄平副大臣に対し要請を行った。

同協議会の代表世話人として、塩田康一鹿児島県知事は「配合飼料などの生産資材価格の高止まりにより、畜産農家の経営が圧迫されている」と述べた上で、肉用牛生産基盤の維持・強化対策について、優

良子牛生産推進緊急支援事業および和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業の継続の他、牛肉輸出促進・消費拡大に向けた対策については、「今年8月に日中動物衛生協定が発効されたことから、中国向け牛肉輸出再開に向けて、輸出条件の設定などに関する協議を加速してほしい」と述べた。

9月の豚肉輸出は前年同月比で2倍増、輸出額も増

財務省貿易統計による9月の国産豚肉輸出量は168t(前年同月比約2倍増)と前年同月で増加した。前月比でも14.3%増加した。輸出先国は合計4カ国・地域で、国別にみると香港が最も多く、合計98t(56.2%増)。次いでシンガポール、タイ、マカオとなった。輸出額は合計2億3793万円(約2.1倍増)

となった。キロ当たり輸出単価は1419円。

一方、鶏肉・鶏くず肉などは、合計391t(19.7%減)。輸出先では香港が最も多く317t、次いでベトナムが74tで、香港への輸出分のうちモモ肉、ムネ肉は81t(9.6%増)となった。キロ当たり輸出単価は383円。

豚肉輸出の表

単位：kg

	香港		ベトナム	シンガポール	マカオ	タイ	その他国	合計
	冷蔵	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍		
2025年2月	2,257	92,099		35,337	2,802	5,050		137,545
3月	1,169	103,660		30,596	6,923	612		142,960
4月	2,929	64,821		21,987	2,024	5,063		96,824
5月	1,032	94,012	372	19,528	4,303	1,137		120,384
6月	4,767	88,199	1,536	31,897	1,536			126,618
7月	926	65,763	922	23,075	1,306	6,483	1,559	100,034
8月	2,662	98,277	193	38,779	4,858	1,919		146,688
9月	2,352	95,398		64,412	1,651	3,848		167,661
前年同月比	95.8%	158.6%	#DIV/0!	530.7%	31.2%	441.3%	0.0%	202.7%
2025年計	18,918	774,292	3,023	276,267	25,865	24,419	1,559	1,123,026
前年同期比	147.3%	137.8%	1950.3%	100.6%	76.5%	117.0%	55.9%	124.1%

プリマハム決算会見②、業務用強化の取り組みが成功

【新川営業本部長(写真)】上期の営業本部としての実績は増収増益となり、営業の状況としては比較的好調といえる。下期もしっかりこの好調を継続させていくのと同時に、計画比では利益面が若干未達だったので、そこをさらに拡販していきたい。

具体的には、恒例の店頭でのお客さま加型のキャンペーンが非常に効果的だ。ハロウィンキャンペーンに加え、今期は東京ディズニーシーの25周年を記念したスペシャルナイトとして、スポンサー各社のお客さま限定で楽しんでいただくイベントのキャンペーンを実施。大きな効果を期待している。さらにディズニーランド内の当社レストラン「ザ・ダイヤモンドホースシュー」貸切タイアップキャンペーン、2年前から行って好評を博している兵庫と東京の宝塚劇場の貸切キャンペーンも実施する。消費者の家計防衛意識が強く、現在は買い控えの傾向が強い。こうしたお客さま参加型のキャンペーンを実施し、非日常を感じていただき、喜んでいただけるような企画を実施することで、お客さまに一步踏み出していただき、「キャンペーンがあるのなら追加で買ってみよう」という気分になっていただけるような企画を展開していく。

また、12月は大きな数量が動く月なので、そこをターゲットに「香薫」の大袋がちょうど発売10周年を迎えるに当たり、お客さまへの日頃の感謝を込めて30gの増量を実施し、買上点数アップにつなげていきたい。

歳暮については、メインブランドの「匠の膳」に自社ブランドの「鹿児島もち豚」を原料に使用し、さら

においしく仕上げている。また、ハム・ソーセージ業界ではおそらく初の取り組みで非常に注目されているが、ミシュランガイドでビブグルマンを4年連続で獲得したカレーとスパイスの名店「SPICY CURRY 魯珈」に監修いただき、ウインナー、焼き豚、骨付きチキン等を作り、組み合わせてギフトとして提案する。



また、今期の方向性として、業務用の強化を掲げており、上期はそれが実績にも貢献。売上高で前年比118%と、これまでできていなかった業務用への取り組みが成功している。下期もこれを継承し、例えば大手ラーメン店への焼き豚の原料提案や製品取引の拡大、さらにまだまだ進んではいないが、大手外食チェーン、ファストフードへの拡販についても何とか下期のうちに実績として貢献できる形にしていきたい。また、日本には大手だけでなく、小規模の外食店もたくさんある。これに向けては基本的に問屋経由になっており、問屋向けに多様なニーズに対応できるような業務用商品を提案する。今期は業務用として70アイテムを開発しており、それを活用して問屋経由で小口の外食店にも商品を届けるような営業活動を推進していく。(連載続く)

薬剤耐性菌対策ミニセミナーを開催—農水省

農水省は11月25日、12月5日、15日の3回にわたり令和7年度動物分野における薬剤耐性菌対策ミニセミナーを開催する。

同セミナーは、抗菌薬が効かない薬剤耐性菌の増加が国際的な課題となっている中、薬剤耐性に関するさまざまな分野の最新情報を紹介し、薬剤耐性対策の一層効果的な推進に資することを目的としたもの。

[開催日時] = 1日目/愛玩動物 11月25日
▷2日目/豚 12月5日▷3日目/牛 12月15日(各回19:00~20:00) [開催形式] WEB開催 (Teamsウェビナーによるリアルタイム配信) [参加費] 無料 [申込み方法] <https://forms.gle/oEpABVck8Fvkr2F7> [申込期限] 各回の配信日の2日前まで (アーカイブ配信のみの申し込みの場合、12月31日まで)

2025年度全国霜降り牛研究会秋季講演会開催

2025年度全国霜降り牛研究会秋季講演会がこのほど、東京都内で開催された。講演会では、農水省畜産局食肉鶏卵課の藤谷洋平課長補佐(下写真)が「牛肉の輸出各論～ハラールについて～」、丸紅(株)穀物油糧部事業開発課の若林昇平氏が「海外(豪州)の肉牛肥育について」それぞれ講演を行った。

冒頭、山口治会長(上写真)は「生産現場を取り巻く環境に目を向けると、枝肉価格の低迷、生産コストの高止まり、人手不足や物流の制約など、依然として厳しい状況にある。このような中、生産現場で生かせる情報の提供、知見の共有、連携の強化を進め、経営の前進を支える一助となるべく努めていく」とあいさつした。

続いて、藤谷課長補佐が登壇し、ハラール牛肉の輸出について講演した。

2024年の牛肉の輸出実績をみると、輸出量は1万826t(前年比122%)、輸出額は648億円(112%)と、過去最高を達成した。輸出額全体に占める割合は、アジア向け(香港、台湾、シンガポールなど)が約6割、欧米向けが約3割を占めている。イスラム諸国については、輸出量が663t(139%)と堅調に推移しており、国・地域別の実績順位は量、額共に上位7番目となっている。

イスラム教は、キリスト教や仏教と並ぶ世界三大宗教の一つとなっており、イスラム教を信仰する人のことをムスリムと呼ぶ。世界には、約10億人のムスリム(イスラム教徒)が存在し、その人口は30年には2億人に到達し、世界人口の4人に1人を占めると推計されている。

ハラールとは、イスラム法によって、「許されたもの」を意味し、ハラールの規定は、基本的には、法律(世俗法)ではなく、宗教上の規定であり、成文化されておらず、詳細な内容は国や地域によって異なる。

ハラール性を確保するためには、関連するすべての行為、ものに関してハラールである必要があるため、原材料、加工方法、上層、貯蔵、物流、陳列など全てのサプライチェーンに及ぶ。また、牛のと畜を行う際は、イスラム教徒が担当し、必ず祈りをささげてから

処理することなど、さまざまな基準を満たす必要があり、現在、日本におけるイスラム諸国施設向けの認定施設は8カ所。今後も輸出認定施設の整備を進めることが課題となっている。

海外では、霜降りは高く評価されているが、一部により安価なものを求める声もある。一方、イスラム

諸国では、中東のホテル客からはロイン系のステーキのニーズが高く、今後は認知度が低い地域でのプロモーションや非ロイン部位の普及教育、さらには、ハラール牛肉生産施設の整備や認定、ハラールと畜人の確保が重要になってくる。

ハラール牛肉の輸出の内訳をみると、冷凍肉の割合が増加。また、非ロインの割合も伸びてきている。このうち、カタール、バーレーン、サウジアラビアについては、ロイン系が9割以上を占めており、これについて藤谷課長補佐は、「これから輸出をしていくマーケットはロインの輸出が多く、その後非ロインなどの需要も増え、裾野が広がっていく傾向にあるため、カタール、バーレーン、サウジアラビアは、伸びしろのあるマーケットだといえるだろう」と説明した。



米国粗飼料輸出協議会がオレゴン州の要人招き、黒毛和種の試食会開催

全米乾牧草協会(National Hay Association/NHA)の組織である米国粗飼料輸出協議会(USFEC)は10月29日、東京都千代田区の帝国ホテル本館にある「なだ万」で「オレゴン産乾牧草で飼育された黒毛和種の試食会」を開催した。

米国オレゴン州農務局のリサ・ハンソン局長(写真左)やUSFECのジョン・スチャパインスキー理事らが来日。オレゴン産の粗飼料を給与した松阪牛が振る舞われた。ハンソン農務局長は「日本は農産物の輸出市場としてとても重要である。オレゴン州の農産物は225種類と豊富で、飼料、ストローは重要産物品の一つである。粗飼料の品質は高く、世界でも特徴的かつトップの品質を持つ日本の和牛に、オレゴンの産物が使われていることを光栄に思う。和牛に給与され、そして肉として米国に帰ってくる良い循環ができており、ウイン・ウインの関係、“農産物の相互利益をもたらす貿易事例”と感じている」とあいさつ。

また、提供された牛肉の生産者である三重県津市の堀坂剛氏(写真右)は、松阪牛の飼育から販売までの一貫生産を行っている。SQF、HACCPの認証

農場で1800頭の黒毛和牛を13棟で2頭ずつ飼育し、オレゴン産の



イタリアンライグラスストローや、チモシーを給与。また、米国向け輸出も行っている。堀坂氏は自社の農場や生産のこだわりについて説明。「今後は飼育2千頭を目指すとともに、米国輸出を増やし現在ロースのみの輸出だが、それ以外の部位も食べてもらえるようにしたい」と述べた。

日本は米国産乾牧草およびわらの最大の国際市場。1970年に米国から粗飼料の輸入を開始し、ストローだけでも40年以上輸入している。オレゴン州は牧草および芝生用の主要な草種子の世界最大の生産地となっている。

プリマハムが東京ディズニーシー 25周年スペシャルナイト招待 CP 実施

プリマハムは、11月1日から12月31日(応募締切11月10日、当日消印有効)まで「東京ディズニーシー25周年“スパークリング・ジュビリー”スペシャルナイトご招待キャンペーン」を実施する。東京ディズニーシーでは、2026年4月15日から約1年間を通して、開園25周年を記念した華やかな「アニバーサリーイベント、“スパークリング・ジュビリー”」が開催される。2026年4月12日(19時30分～22時30分)、一足先に東京ディズニーリゾートスポンサー専用で開催される、プライベート・イブニング・パーティー“スパークリング・ジュビリー”スペシャルナイトに300人を招待。当選者は、一般ゲストに先駆け、25周年のお祝いムードに包まれた東京ディズニーシーの素敵な夜を特別に体験できる。そのほか、家族皆が喜ぶ「プリマハムおたのしみセット」も用意。総計400人においしさ

と楽しさを届ける。【コース内容】東京ディズニーシー 25周年“スパークリング・ジュビリー”スペシャルナイトご招待 4名様コース=合計50組200人 “スパークリング・ジュビリー”スペシャルナイトチケット(4枚、ポップコーン・レギュラーボックス引換券2枚付、バーコード13枚)▷2名様コース=合計50組100人 “スパークリング・ジュビリー”スペシャルナイトチケット(2枚、ポップコーン・レギュラーボックス引換券1枚付、バーコード7枚)▷プリマハムコース=合計100人 プリマハムおたのしみセット(バーコード2枚)

【主な対象商品】香薫あらびきポークウインナー(90g)、スマイル UP!ロースハム3連、絶品楽食炭火焼ひとくちやきとり350g、絶品楽食炭火焼ひとくちやきとり1kgほか。

[資料] 2025年9月分の食肉輸入通関実績⑨

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

(単位: 1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

共通の限度数量以外のもの)

DENMARK	204 KG	16356	31996	140214	258366
U KING	205 KG	2420	6993	10327	28608
FRANCE	210 KG	6533	15507	60939	152757
GERMANY	213 KG	2864	5899	20409	38200
SPAIN	218 KG	-	-	608	1881
ITALY	220 KG	55485	114064	443559	911276
USA	304 KG	-	-	239	850
NEWZELD	606 KG	-	-	221	709
TOTAL	990 KG	83658	174459	676516	1392647
(E. U)	991 KG	81238	167466	665729	1362480

のもの)

THAILND	111 KG	58464	17594	1472607	448779
MALYSIA	113 KG	340782	93839	1301442	355906
GERMANY	213 KG	6071	33807	34759	199366
USA	304 KG	120	4481	3450	70987
BRAZIL	410 KG	282067	94877	1480228	452850
TOTAL	990 KG	687504	244598	4292486	1527888
(E. U)	991 KG	6071	33807	34759	199366

0406. 90-010 その他のチーズ(プロセスチーズの原料として使用

するもので、共通の限度数量以内のもの)

DENMARK	204 KG	49546	40741	607760	479541
U KING	205 KG	-	-	3575	4859
IRELAND	206 KG	191568	164029	895719	694487
NETHLD	207 KG	11441	9173	93610	71492
BELGIUM	208 KG	-	-	23175	16058
FRANCE	210 KG	-	-	56126	75800
GERMANY	213 KG	100582	79339	1226250	938180
ITALY	220 KG	685	2137	6900	18069
USA	304 KG	186158	132382	1511091	1019572
AUSTRAL	601 KG	142660	111365	2234140	1629023
NEWZELD	606 KG	1480608	1143366	13194210	9777112
TOTAL	990 KG	2163248	1682532	19852556	14724193
(E. U)	991 KG	353822	295419	2909540	2293627

0407. 90-200 その他の殻付きの鳥卵(生鮮のもの及び冷凍のもの
を除く。)

CHINA	105 KG	15826	6780	365233	149467
TAIWAN	106 KG	13987	7882	139040	99075
TOTAL	990 KG	29813	14662	504273	248542

0408. 11-000 卵黄(乾燥したもの)

CHINA	105 KG	68000	64332	438300	402683
INDIA	123 KG	70500	80816	438250	521456
SWEDEN	203 KG	15543	47198	70098	210405
DENMARK	204 KG	-	-	20000	30054
FRANCE	210 KG	21750	57813	54750	128943
GERMANY	213 KG	-	-	18750	35716
USA	304 KG	-	-	493504	748911
ARGENT	413 KG	41600	60233	116600	150223
TOTAL	990 KG	217393	310392	1650252	2228391
(E. U)	991 KG	37293	105011	163598	405118

0406. 90-090 その他のチーズ(プロセスチーズの原料として使用

するもので、共通の限度数量以内のもの以外のもの)

R KOREA	103 KG	2100	1735	5150	4200
MONGOL	107 KG	82	327	866	3444
VIETNAM	110 KG	21537	23050	74323	78349
SNGAPOR	112 KG	9030	13353	18050	26887
PHILPIN	117 KG	-	-	913	1072
INDIA	123 KG	-	-	1370	4010
NEPAL	131 KG	1030	2539	12160	32177
U ARB E	147 KG	-	-	240	350
NORWAY	202 KG	-	-	4372	6503
DENMARK	204 KG	464245	441450	5410327	4463673
U KING	205 KG	17987	29737	169110	226017
IRELAND	206 KG	437076	402414	5029351	4002048
NETHLD	207 KG	1504950	1183374	12983647	9774090
BELGIUM	208 KG	116341	90366	1163088	834842
FRANCE	210 KG	121473	275969	1176306	2520317
GERMANY	213 KG	760894	571457	7122434	5246249
SWITZLD	215 KG	58360	158555	290486	753579
SPAIN	218 KG	26158	24688	84262	102864
ITALY	220 KG	131875	306736	1861688	3905233
FINLAND	222 KG	-	-	22243	17032
POLAND	223 KG	1676	2482	3959	5966
AUSTRIA	225 KG	-	-	1123	4115
GREECE	230 KG	2484	3865	38805	66802
CYPRUS	233 KG	1409	2177	1409	2177
ESTONIA	235 KG	-	-	18066	11532
LATVIA	236 KG	-	-	335	1265
LITHUAN	237 KG	8798	9882	25809	27008
CZECH	245 KG	1518	2761	4852	8209
USA	304 KG	2943311	1989855	23887238	16023442
CHILE	409 KG	46009	29406	483251	317134
ARGENT	413 KG	-	-	12500	9099
AUSTRAL	601 KG	1396900	1087274	19334398	13471911
NEWZELD	606 KG	2729358	1787060	24945196	16936366
TOTAL	990 KG	10804601	8440512	104187327	78887962
(E. U)	991 KG	3578897	3317621	34947704	30993422

0408. 19-000 卵黄(生鮮のもの及び蒸気又は水煮による調理、成
型、冷凍その他保存に適する処理をしたもの)

CHINA	105 KG	-	-	5536	13466
TAIWAN	106 KG	-	-	4500	15632
THAILND	111 KG	-	-	340	515
LITHUAN	237 KG	700	1268	68340	46761
USA	304 KG	323126	257546	3158353	2354322
BRAZIL	410 KG	109440	71379	699153	407059
TOTAL	990 KG	433266	330193	3936222	2837755
(E. U)	991 KG	700	1268	68340	46761

0408. 91-000 殻付きでない鳥卵(乾燥したもの)

R KOREA	103 KG	-	-	100	833
CHINA	105 KG	25000	29554	150500	160413
INDIA	123 KG	67150	78464	779600	846416
DENMARK	204 KG	-	-	20000	25273
NETHLD	207 KG	-	-	15200	22983
FRANCE	210 KG	-	-	22425	44838
ITALY	220 KG	-	-	21000	26264
LITHUAN	237 KG	-	-	21750	22884
USA	304 KG	575	3892	67195	109747
ARGENT	413 KG	63600	84049	456200	558968
TOTAL	990 KG	156325	195959	1553970	1818619
(E. U)	991 KG	-	-	100375	142242

0408. 99-010 殻付きでない鳥卵(生鮮のもの及び冷凍したもの

(蒸気若しくは水煮による調理をし又は成型したもの
を除く。))

THAILND	111 KG	134280	50669	959088	361462
MALYSIA	113 KG	-	-	28800	10304
LITHUAN	237 KG	-	-	69500	25513
TOTAL	990 KG	134280	50669	1057388	397279
(E. U)	991 KG	-	-	69500	25513

0408. 99-090 殻付きでない鳥卵(冷凍したもの(蒸気又は水煮に
よる調理、成型したもの)又は蒸気若しくは水煮に
よる調理、成型その他保存に適する処理をしたもの)

CHINA	105 KG	204946	112369	2047077	1136759
VIETNAM	110 KG	17258	11016	315179	215401
THAILND	111 KG	109709	96385	952095	781666
TOTAL	990 KG	331913	219770	3314351	2133826

0409. 00-000 天然はちみつ

CHINA	105 KG	3183547	816224	27558323	7287971
TAIWAN	106 KG	3600	2718	4436	4318
VIETNAM	110 KG	140560	42360	940990	247885
THAILND	111 KG	55152	22715	387406	151327

0407. 19-000 鶏(ガラルス・ドメスティクス)以外のふ化用の受精

卵

TAIWAN	106 KG	0	1441	0	2548
PHILPIN	117 KG	0	883	0	3805
TOTAL	990 KG	0	2324	0	6353

0407. 21-000 鶏(ガラルス・ドメスティクス)の殻付きの卵(生鮮

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 11月5日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,432	2,985	2,291	-	-
		安値	2,322	2,271	2,115	-	-
		平均	2,763	2,437	2,244	-	-
	88頭	頭数	51	28	9	-	-
	雌 B	高値	-	2,206	-	-	-
		安値	-	2,171	-	-	-
		平均	2,252	2,189	-	-	-
	3頭	頭数	1	2	-	-	-
	去 A	高値	3,242	2,539	2,335	-	-
		安値	2,279	2,271	2,107	-	-
		平均	2,609	2,399	2,240	1,836	-
	194頭	頭数	137	41	15	1	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,727	1,594	1,526	-
		頭数	-	1	11	9	-
	雌 C	平均	-	-	-	1,304	-
		頭数	-	-	-	3	-
	去 B	平均	-	1,734	1,653	1,527	-
頭数		-	12	19	10	-	
去 C	平均	-	-	1,535	1,395	-	
5頭	頭数	-	-	4	1	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚	その他
と畜 売買	430	1,153	-	(競り) (相対)	
	430	1,009	351.0	-	34 65

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,717	1,994	1,741	1,571	-
	B	2,398	-	1,655	1,548	1,315
和 去	A	2,531	2,326	2,173	-	-
	B	2,203	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,042	1,036
	C	-	-	-	-	999
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	1,937	1,762	1,604	1,377	-
	C	-	-	1,477	1,353	-
交 去	B	1,959	1,761	1,644	1,521	-
	C	-	1,657	1,529	1,458	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	745	699	747	639	544
	安値	600	572	526	443	162
	平均	661	595	573	540	479
	頭数	(3)	(343)	(414)	(165)	(84)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	-	-	464	528
	安値	-	-	-	421	528
	平均	-	-	-	441	528
	頭数	(-)	(-)	(-)	(28)	(6)

[大阪食肉卸売市場] 11月5日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,588	2,272	2,045	-	-
(頭数)	(23)	(8)	(2)	(-)	(-)
B	-	2,050	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(1)	(-)
和 去 A	2,565	2,227	2,026	-	-
(頭数)	(23)	(10)	(1)	(-)	(-)
B	-	2,106	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,714	-	-	-
C	-	-	1,633	-	-
交雑去 B	-	1,824	1,644	-	-
C	-	-	1,608	-	-
豚	671	609	569	501	471

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	11月5日	11月4日	(11月累計)
豚	69,900	73,000	142,900
成牛計	4,890	5,160	10,050
和牛雌	1,380	1,350	2,730
和牛去勢	1,420	1,550	2,970
乳牛雌	680	730	1,410
乳牛去勢	370	460	830
交雑雌	520	470	990
交雑去	500	600	1,100

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 11月5日

東京	1,593円	(前日 1,572円)
大阪	1,644円	(前日 1,551円)

[豚・全農建値] 11月5日

上	中	取引頭数	市況
597円	575円	1,478頭	続落

と畜 売買	牛 114頭	豚 85頭	牛概況	もちあい
	牛 92頭	豚 130頭	豚概況	急落

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 11月5日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	583 (572)	- (-)	6,571	-	上伸
仙台 [中]	578 (603)	498 (516)	402	39	反落
栃木 [地]	- (-)	503 (-)	1,865	75	下押し
茨城 [地]	592 (611)	561 (574)	1,325	677	反落
群馬 [地]	574 (580)	501 (501)	2,505	388	続落
さいたま [中]	589 (600)	580 (583)	219	225	続落
東京 [中]	595 (594)	573 (579)	1,153	1,009	もちあい
横浜 [中]	607 (621)	574 (591)	688	684	反落
山梨 [地]	630 (701)	561 (685)	176	135	急落
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	590 (583)	576 (575)	999	152	強もちあい
京都 [中]	- (624)	- (612)	-	-	休市
大阪 [中]	609 (629)	569 (583)	85	101	急落
神戸 [中]	697 (-)	694 (-)	125	132	-
岡山 [地]	620 (619)	607 (606)	372	382	もちあい
広島 [中]	605 (583)	569 (549)	201	103	急騰
福岡 [中]	594 (593)	573 (554)	591	160	もちあい

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 10月29日～11月4日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,264,674 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,103	1,177	1,232	1,176	64,140
うで	704	786	818	780	92,748
ロース	1,025	1,113	1,185	1,118	133,834
ばら	1,166	1,260	1,372	1,248	149,413
もも	738	761	805	768	142,601
ヒレ	1,121	1,163	1,220	1,155	17,492
セット	864	985	1,096	987	664,446

◇近畿圏 総重量 674,998 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,134	1,247	1,341	1,236	56,285
うで	670	734	810	746	105,265
ロース	1,026	1,102	1,273	1,142	94,884
ばら	1,253	1,274	1,350	1,287	126,869
もも	670	733	845	738	155,535
ヒレ	1,124	1,274	1,344	1,242	9,822
セット	873	962	1,066	966	126,338

[食鳥正肉日経相場] 11月4日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	648	732	935	215
ムネ	487	548	690	175

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	653	730	1,030	4
ムネ	495	533	630	5

[農水省統計情報部食鳥市況] 11月4日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値					
安値					
平均					

4日分は7日掲載

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します